

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	2		宿題エリア・遊びエリアをパーテーションにより区切って活動している。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	1		常に子供から目が切れないように職員配置を行っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		3	2	トイレがどうしてもバリアフリーにならないため、トイレに行くときにはスタッフに伝え低学年に関してはついて行き、確認するようにしている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1		毎日のミーティングで必ず行うようにしているが、休暇の職員に対しては連絡不足の時があるように思う。次の日に申し送りを忘れずに行うようにする。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1		評価が低いものに対しては改善策を考え、スタッフでミーティングの時に話し合うようにしている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1		公開の作業をしているのが、管理者のため、知らない職員もいる。周知するようにする。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	1	今年度は市会議員の方に見学。視察に来ていただき、ご意見をいただ着たことを最善へつなげている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			毎月1回五日市事業所と合同でミーティングを行い、そこで研修を兼ねた勉強会を行っている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			療育を通して子どもの成長点、課題を日頃から職員で分析・共有。半年に一度、保護者面談を実施。その他、担当者会議等を通じて、保護者のニーズや子どもの課題を共有している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2		5領域における個別支援計画を作成するにあたって、作成し使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1		基本的にはメインの指導者が立案しているが、必ず振り返りを行うことで、スタッフの意見も反映させながら活動プログラムを立てるようにしている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	2		サッカー(スポーツ)活動のみならずイベントも実施。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1		メニューがマンネリ化しないよう、子ども達の様子表情も煮ながら組み立てるようにしている。また、休日、長期休暇においては、今必要な課題を見出して活動メニューを組み立てるようにしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			集団活動をメインとして行っているが、運動能力に応じて個々にメニューを変えたり、また難しさがある子に対しては、分かりやすいように個別対応を行いながら参加できるようにしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			毎朝、情報の共有や対応、対策などの確認。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1		次の日に全員の現状と今後についてフィードバックを実施。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1		必ず、その日のうちに経過記録を残している。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			更新前に必ずモニタリングを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	1		ガイドラインの総則を組み合わせさせて支援を実施、自立支援と日常生活の充実の為に集団でのスポーツ療育の実施、また創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供を組み合わせ、総合支援型の基本活動を通して支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			児童発達支援管理者が出席しているが、当事業所で会議が行われる場合には指導員も同席するようにしている。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	1		利用者の様子や出来事など細かな情報まで共有をしている。/学校の先生と支援の統一性を図るよう送迎の際に共有。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		4	1	現在医療的ケアが必要なこその受け入れはしていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		1	4	就学前に関しては現在上表共有は行っていない。新一年生に関しては、最初の担当者会議で児童発達支援事業所の方との情報共有は行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		2	3	障害福祉サービス事業所へ移行した子がまだいない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		4	1	外部講師を呼んでの専門機関と連携した助言や研修機会はないが、廿日市市連絡協議会での研修等には毎回管理者が参加しており、そこでの学びや情報については職員間でも共有している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	1	昨年はトヨペットさんとコラボしておボール作りを行ったが、今年度はなかった。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	2		3か月に1回であるが参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			療育中の子ども達の様子で変化があった時には良い点も気になった点も送迎の際、もしくは電話をして連絡するようにしている。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	3		保護者会を年に一度開催して、そこでペアトレに近いものを行っている。今年度は半年に一度行う予定としている。	
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約の際には必ず行っている。また、質問があった時にも丁寧に対応している。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			保護者からの悩み・相談等はよくあるので、時間と取って対面または電話・LINE等で助言・支援をおこなっている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1		年1回保護者会を開催して保護者同士の連携が取れるような仕組みは作っている。来年度は半年に1回は開催したいと考えている

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			子どもや保護者から苦情が出た場合にはまず児発管へ報告し、その後の対応に対して職員間で相談して対応を行う体制をとっている。対応自体は迅速かつ適切に対応している
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	4		会報は発行していない。検討していくべき点に感じている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	5			退社する時には個人情報の書類棚には施錠を行い、個々のパソコンも鍵付き引き出しに片付けて帰宅している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			視覚情報として、絵カード等を使用している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	1	1月に餅つきを行った時に地域の方にボランティアとしてお手伝いしていただいた。今後ももっと地域住民の方との接点を持てるようにしていきたい。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	3		職員に対しては行えているが、保護者に対しては全員になるとまだ不十分に思うので、今後周知していきたい。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			避難訓練は定期的に行っている。地震の訓練は行えている。一年に一度は事業所からの避難方法を職員で確認していくようにする。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			虐待防止は、研修はもちろん行っているが、子ども達の着替えの時に男性スタッフに時に一緒に入ってもらい、子ども達の体も観察してもらうようにする。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1		基本的には身体抑制を行うことはないが、危険が伴うときには手をひっぱたり、押さえつけることが絶対にならないということはない。その際には必ず保護者へ連絡を行うよう、指導員間徹底している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	2		基本的に食べ物を提供することはない。イベント時の外食体験の機会はあるが、必ずアレルギー品を表示し、事前に保護者へ確認してもらうようにしている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			指導員間で共有し対策済み。